

# FOCUS

## 特集 持続社会開発事業 2023.9 Vol.03

少子高齢化によって過疎化が進行する淡路島。  
デジタル技術を活用し、持続可能な社会へ  
行政サービスの改革へと導く「行政DX」とは!?



### 理事長雑感

Greetings from the New Director

伊山 真司

青年会議所にある様々な機会と向き合っていこう。

2023年度  
スローガン  
**機に勇ましく!**  
～新たな可能性を生み出すために～

一般社団法人淡路青年会議所  
第61代理事長

一般社団法人淡路青年会議所(以下、淡路青年会議所)の広報誌「FOCUS」をご覧いただきありがとうございます。また、日頃より淡路青年会議所に対し、ご理解と協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼を申し上げます。

JCI淡路の2023年度も残すところ4ヵ月弱となりました。終わりというものが見えてくれば、新たな始まりが見えてくるものであり、2024年度の組織体制が本格的に動き始める月に入りました。去年の今頃、私もはじまりを船頭としていただく立場として、期待や不安が入り交じり地に足を踏む余裕もない状態になっていたなど、当時のことを昨日のように思い出します。時の流れの早さをあらためて感じながら、悔いをのこさぬよう残りの機会に向き合っていきたいと思います。

さて、本誌に掲載しております各事業を振り返りますと、まずは6月例会選考、輝く未来のために、を開催させて頂きました。本例会では2024年度の理事体制を選考、選考委員メンバーを決める選挙を行う例会です。例会後は選考委員に選ばれたメンバーを囲んで懇親会をさせて頂きました。多くのメンバーが選考委員を囲み積極的に関わり合う姿があり、非常に盛り上がりを見せた懇親会となりました。次に、7月例会「Intelligence」大切な情報を守らねばならない。講師を招いて情報リテラシーについてご講演いただきました。現在では情報を得る手段も多様になり便利になりましたが、その反面、信憑性を欠く情報も多く増え、情報を得る手段を知るよりも情報の正しさを見抜く目を養うことが大切と感じます。また、不確実な情報から危険な事に巻き込まれるなど問題も増え、情報を得る手段を知るよりも情報の正しさを見抜く目を養うことが大切と感じます。また、不確実な情報から危険な事に巻き込まれるなど問題も増え、情報を得る手段を知るよりも情報の正しさを見抜く目を養うことが大切と感じます。

青年会議所でも、事業計画を立てる段階で、情報収集だけでなく調査研究することを非常に大切にしていることになりました。8月例会「団結」新たな交流!!を開催いたしました。今年度は講師を招く例会が非常に多い中、メンバーがゼロからイチを生み出す交流例会となりました。コロナの渦によって交流の手法も多様になりましたが、本例会ではメンバーがチームに分かれて、制限のある中で目的に向かって協力し成功体験を一緒に得ていく例会となりました。様々なレクリエーションでメンバー全員が団結し本当に楽しそうに取組む姿勢は、普段の交流では得られない体験であったと感じました。これから大きな壁が出てきた時でも、このことを思い出して団結力あるメンバーとなり、という想いで不安を自信に変えていこうと思っております。その他、ゴルフ同好会では福岡にてゴルフコンペを開催し、淡路青年会議所OBの皆さまとゴルフの事業の構築など活発に動き、メンバーの疲労も見える時期でしたが、気分もリフレッシュできるよい機会をいただき乗り越えることができました。また、普段回ることのない名門コースに行かせていただけるのも、ゴルフ同好会の醍醐味です。多くのゴルフをするメンバーがさらに増え、先輩方も交流する機会として活かしてほしいと思います。次に、4月23日(日)に開催しました、第28回わんぱく相撲淡路場所から4ヵ月以上が経ちました。淡路場所の開催後、4・5・6年生は兵庫大会に参加し、勝ち進んだ2名が、先日開催されたわんぱく相撲全国大会に参加し、私も応援に行ってきました。場所は東京の両国国技館で行われ、テレビで見ると大相撲と同じ土俵の土を地元の子も踏んでいる光景に、過去に私が青少年委員会の委員長をさせて頂いた時以来の感動で胸がいっぱいになりました。私たちは機会を提供する団体ですが、この時は子どもたちが喜びの機会を提供してもらいました。父兄の皆さんも懸命に応援しておられ事業を出来たことにあらためて嬉しく思います。各種大会では、サマーコンファレンス2023で横浜へ、兵庫ブロック大会では伊丹へメンバーと参加させていただきました。地元とは違う地域で懇親を深める機会となりました。各種大会にはセミナーや分科会などイベントが様々あります。是非多くのメンバーがよい機会と捉えて参加者が増えることを望んでいます。最後に、今年度JCI淡路のメイン事業として半年以上かけてメンバーで構築してきた事業「愛する淡路島の未来」新時代を捉えて淡路島をひとつに」につきまして、今回は様々なながらみというものを感ずることが多くあり謝しています。また、本事業に必要なを感じ参加していただいた皆さま、ご運営に多大なるご協力をいただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

結びとなりますが、まだまだ残暑のこの秋となります。皆様には充分お身体に気をつけて頂きますようお願いを申し上げます。理事長雑感とさせていただきます。

Contents. 01. 理事長雑感 02.-03. 事業報告 04. 特集記事+入会案内



### FOCUS 持続社会開発事業「愛する淡路島のために～新時代を据え淡路島をひとつに～」

淡路島の少子高齢化、過疎化の問題は深刻です。JCI 淡路では「明るい豊かな社会」の実現に向けて今年度、デジタル社会における「行政DX」に焦点をあて、官民が一体となって目指すべき未来を共有することを目的にフォーラムを開催しました。



去る7月9日(日)14時より洲本市文化体育館にて、一般社団法人淡路青年会議所「持続社会開発事業」愛すべき淡路島の未来～新時代を捉え淡路島をひとつに」を開催させていただきました。

デジタル庁より河野太郎デジタル大臣と、構想日本総括ディレクターとデジタル庁参与という2つのお立場から伊藤伸様にお越し頂き、デジタルトランスフォーメーションを切り口とした、新時代の国と地方の在り方についてのご講演を頂きました。お二人のご講演の後には、淡路島の三市の市長にもご登壇頂き「愛すべき淡路島の未来」についてのパネルディスカッションを行い、それぞれの現状と課題、そして未来への希望について、国と地方の垣根を越えた議論を実現する事が出来ました。

愛すべき淡路島の未来について、島民全員で、官民一体となって考え、まずは広域的に行政DXに取り組み、そしてその先の「淡路島一市」に向けて、確実に大きな一歩になったと確信しております。

持続社会開発委員会 委員長  
高田 祥平

1. 講師：デジタル大臣 河野太郎氏
2. 講師：デジタル庁 参与 伊藤 伸氏
3. メンバー集合写真
4. パネルディスカッションの様子
5. パネリストとの一枚

# 2023年度 入会案内 新入会員募集中

JCI Awaji Junior Chamber International Awaji 一般社団法人 淡路青年会議所

私たちと一緒に活動しませんか！ 明るい豊かな淡路島のために！

一般社団法人淡路青年会議所では、2023年度新入会員の募集を随時行っております。青年会議所(JCI)は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、次代のリーダーとなる責任感を持った青年の団体です。そして、淡路青年会議所は創立以来「淡路はひとつ」を基本理念に淡路島のまちのため、また活動を通して得る自身の資質向上のため活動、運動を行っております。

本年度は、「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」をスローガンに掲げ、青年会議所にある様々な機会に勇敢に挑み、変革の起点となる取組みを行ってまいります。自分にはないものを持った仲間たちとの時間を通して絆を深め、未来を見据えた意見交換を行いませんか。ぜひ青年会議所に入会して、私たちと共に「人が、地域がより良くなる」社会を目指していきましょう!!

<p>入会資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢は20歳～40歳までであること。</li> <li>一般社団法人淡路青年会議所の目的に賛同されること。</li> <li>一般社団法人淡路青年会議所資格規定に基づく選考に合格されること。</li> </ul>	<p>現在会員数 49名(男性44名/女性5名) 多様なメンバーが在籍中</p>	<p>入会のご案内</p> <p>JCI淡路の紹介</p>
---	--	-------------------------------



